【実行団体用】

事業完了報告書

提出日：2023　年　4 月　14 日

1．事業概要

（1）実行団体名：NPO 法人地域生活支援ネットワークサロン
（2）事業名　：若者自立プロセス資源化モデル事業
（3）事業実施期間：2020 年　4 月～ 2023 年　3 月
（4）資金分配団体名：一般社団法人北海道総合研究調査会

2. 規程類の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1）事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☐　完了　／　☑　整備中
→上記で「整備中」を選択した場合、整備できていない理由を記載してください。また、事業開始時と比較して、整備状況が改善された点を記載してください。 JANPIA やその他団体の規程を参考に、理事会において規程の整備の検討を行い、事前作成したものについてはコンプライアンスへの意識づけが強化されるなど規程整備により適切な意思決定を行うための体制を整えることができた。 一方、その他の規程については、内部で検討を重ねてきたものの、管理業務に従事する常勤職員の不足が改善せず、また、フラットで日常的なコミュニケーションを大切にする運営方針の特徴にふさわしく効果的な規程のイメージの共有や合意形成が課題となり、助成期間中に規程として定めるに至らなかったが、公正で健全な組織運営を行っていくための規程整備を引き続き検討していく。
（2）　整備が完了した規程類を自団体の web サイト上で広く一般公開していますか。
☐　全て公開した　／　☑　一部未公開　／　☐　未公開
→上記で「一部未公開」または「未公開」を選択した場合、その理由と公開予定日を記載してください。 規程の議論が難航していたため、遅れました。4 月 20 日までに公開と公正で健全な組織運営に向けての取り組みについて公開予定
（3）　変更があった規程類に関して JANPIA に報告しましたか。
☐　変更があり報告済　／　☐　変更があったが未報告　／　☑　変更はなかった
→上記で「変更があったが未報告」を選択した場合、その理由を記載してください。

3. ガバナンス・コンプライアンス体制の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1） 社員総会または評議員会、理事会は、規程類の定めるとおりに開催されていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（2） 内部通報制度は整備されていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「はい」を選択した場合、設置方法を以下から選んでください。（複数選択可） ☑ 内部に窓口を設置 ／ ☐ 外部に窓口を設置 ／ ☑ JANPIA の窓口を利用
（3） 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（4） 関連する規程類や資金提供契約の定めるとおりに情報公開を行っていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（5） コンプライアンス責任者を設置していましたか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（6） ガバナンス・コンプライアンス体制の整備や強化施策を検討・実施しましたか。
☐ はい ／ ☑ いいえ
→【任意】上記で「はい」を選択した場合、どのような検討・実施をしたか事例を記載してください。

（7） 団体の決算書類に対する会計監査はどのように実施しましたか。本事業の最終年度の状況を選択してください。（実施予定の場合を含む）
☑ 外部監査 ／ ☑ 内部監査 ※（複数選択可）
→上記で外部監査／内部監査を選択した場合、その実施者/実施時期を記載してください。 外部は毎月税理事事務所の監査を受けている。内部監査は法人監事が年 2 回（昨年度は 9 月 14 日、3 月 6 日の 2 度）実施
（8） 本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。
☐ はい ／ ☑ いいえ

4. 広報実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、設問に回答してください。

（1）シンボルマークの活用状況
☑ 自団体のウェブサイトで表示している ／ ☐ 広報制作物に表示している ☐ 報告書に表示している ／ ☐ イベント実施時に表示している ☐ その他 →「その他」を選択した場合は記載してください （自由記述）：

最終年度の広報実績について記載してください。

広報種類	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）		毎月 FM くしろの番組で自ら広報
広報制作物等		
報告書等		

5. その他（本助成を通じて組織として強化された事項や新たに認識した課題、今後の対応/あればよいと思う支援や改善を求めたい事項など、自由にご記載ください。）

事業評価が義務付けられていたので、外部に理解者や協力者を増やしていくことの必要性と重要性がよくわかりました。 必要性や現場の感覚から「とにかくやってきたこと」を「何のために、何を意図と意識をしてやることなのか」と理論化するプロセスが明確になりました。 ただ、課題としては必要な支援はインフォーマルであるからこその価値や意味があるため、事業収入にならないコミュニティワークになってしまうジレンマはますます強化されました。

【添付資料】

活動の様子がわかる写真　5 枚程度

JANPIA の事業報告書や WEB サイト、SNS 等で公開可能な写真を 5 枚程度（1 枚 2MB 以下）ご提出ください。（肖像権・著作権に十分にご注意ください。）

それぞれどんな場面の写真なのか、1 枚あたり 50 字から 200 字程度で説明を記載していただきますようお願いいたします。

写真１：本州から体験にやってきた若者と無一文ハウスの若者たちとで中標津の公園に遊びにお出かけ。体験者が来た時が絶好の交流機会となり、相談や語りの機会になります。

写真２：斜里の農園から収穫した枝豆やとうもろこしを加工する多機能下宿のキッチン風景
インターンシップ、体験者、暮らしている子ども、ボランティアなどいろいろな人がいます。

写真３：子育て支援の一環で定期的に若者たちの応援に来てくれた療育の専門家のサポーターと子育てに悩むお母さんたちと茶話会。奥で若者が託児で活躍しています。

写真４：2022 年 12 月から 2023 年 1 月までの年末年始に 9 回シリーズで実施した「深夜のハーマン勉強会」の最終回。この活動の最後に整備した無一文ハウスから当事者の若者と一緒に配信していました。この日は勉強会終了後に皆さんから意見をもらいました。

写真５：生きづらさを抱え死にたい気持ちで絶望しているときにサイトを通じてつながった母子家庭のお母さんが娘さんと一緒に体験に来ました。馬が大好きな娘さんのリクエストで北国ならではの雪と乗馬を体験しています。

※ご提出をもって JANPIA での使用にご了承いただいたこととし、使用時に改めて確認はいたしませんので、ご承知のうえ、使用に差支えのない写真（使用許可をとった写真や個人が特定される写真を避ける等）を選んでいただきますようお願いいたします。

らゆらばし

Zia+Safe
AGC
Ziploc

ハーマン勉強会9回目

限定公開

フレームフリー...
チャンネル登録者数 ...

チャンネル登録

0

共有